

海軍公報 (部内限) 第三千三百七十三號

昭和十四年十二月一日(金)

海軍大臣官房

○令 達

官房第六一〇九號

機 要

演習費支辨物品取扱手續中左ノ通改正ス

昭和十四年十二月一日

海 軍 大 臣

第一條第二號中「舞鶴ニ在リテハ要港部經理部」ヲ削
ル

(會計法規類集下卷七三頁參照)

官房第六一〇一號

機 要

麻袋貸與及整理手續中左ノ通改正ス

昭和十四年十二月一日

海 軍 大 臣

第一條中「(舞鶴ニ在リテハ要港部軍需部以下同シ)」
ヲ削ル

第二條中「(舞鶴要港部附屬艦隊部隊ニ在リテハ舞鶴

要港部軍需部以下同シ)」ヲ削ル

(會計法規類集下卷八八ノ二頁參照)

官房第六一一二號

機 要

昭和十年官房第五二三九號ハ之ヲ廢止ス(濟)(善)

昭和十四年十二月一日

海 軍 大 臣

昭和十年官房第五二三九號ハ當分ノ間舞鶴要港部病院ニ於ケル
治療品ノ保管出納ニ關シ舞鶴要港部病院長ヲ出納命令官トシ臨
時増置員タル藥劑科士官ヲ會計官吏トスルノ件ナリ

(會計法規類集下卷一〇七頁參照)

官房第六一一二號

機 要

昭和六年官房第三三五六號中左ノ通改正ス

昭和十四年十二月一日

海 軍 大 臣

第一號中「(舞鶴ニ在リテハ舞鶴要港部軍需部以下同
シ)」(舞鶴ニ在リテハ舞鶴要港部軍需部長以下同

海軍公報 (部内限) 第三千三百七十三號

昭和十四年十二月一日

一三九一

海軍公報(部内限) 第三千三百七十三號

昭和十四年十二月一日

一三九二

<p>シ) 及「(舞鶴ニ在リテハ要港部經理部以下同シ)」ヲ削ル</p> <p>第二號表中鑑營需品ノ項範圍ノ欄中「(舞鶴要港部工作部ヲ含ム以下之ニ做フ)」ヲ削ル</p> <p>參照 昭和六年官房第三三五六號ハ鑑營需品、燃料及治療品ノ繰替供給ヲ爲シタル場合ノ取扱方ノ件ナリ</p> <p>〔會計法規類集下卷一五七頁〕</p>	<p>官房第六一一三號</p> <p>昭和十一年官房第一七七〇號中「又ハ舞鶴要港部軍需部」ヲ削ル</p> <p>昭和十四年十二月一日</p> <p>海軍大臣</p>	<p>官房第六一一四號</p> <p>大正十三年官房第八九一號ハ之ヲ廢止ス</p> <p>昭和十四年十二月一日</p> <p>海軍大臣</p>	<p>大正十三年官房八九一號ハ舞鶴要港部軍需部兵備品會計官吏ノ兵備品供給整理ノ件ナリ(會計法規類集下卷一〇六頁參照)</p> <p>官房第六一一五號</p> <p>提 要</p> <p>昭和七年官房第一〇八一號中「(舞鶴ニ在リテハ)要港部工作部」ヲ削ル</p> <p>昭和十四年十二月一日</p> <p>海軍大臣</p>	<p>官房第四三五六號ノ二</p> <p>本年官房第四三五六號第一號中「(舞鶴要港部軍需部ヲ含ム以下同)」ヲ削ル</p> <p>昭和十四年十二月一日</p> <p>海軍大臣</p>	<p>昭和十一年官房第一七七〇號ハ海軍軍需部又ハ舞鶴要港部軍需部ニ於テ鑑營需品及燃料ノ繰替供給ノ件ナリ</p> <p>〔會計法規類集下卷一六四頁〕</p> <p>本年官房第四三五六號ハ燃料、潤滑油等ノ容器タル「ドラム」罐「ブリキ」罐ノ空罐取扱手續ノ件ナリ(昭和十四年八月十八日部内限公報參照)</p>
--	--	---	--	--	--

官房第六一六號

大正六年官房第一一五一號別表中左ノ通改正ス

昭昭十四年十二月一日

海軍大臣

佐世保鎮守府司令長官ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

舞鶴鎮守府司令長官 四〇〇〇〇〇

千歲航空隊司令ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

谷田部航空隊司令 六〇〇〇〇〇

百里原航空隊司令 六〇〇〇〇〇

岩國航空隊司令 六〇〇〇〇〇

舞鶴要港部司令官ノ項ヲ削ル

(參照) 大正六年官房第一一五一號ハ司令長官以下ニ於テ要スル接待費定額ナリ(會計法規類集上卷一一四ノ五頁)

官房第六一七號

昭和十三年官房第一四七九號中「又ハ舞鶴要港部軍需部」ヲ削ル

昭和十四年十二月一日

海軍大臣

(參照)

昭和十三年官房第一四七九號ハ海軍軍需部又ハ舞鶴要港部軍需部兵備品會計官吏ハ別ニ規定アルモノノ外航空機ノ供給、還納又ハ保管轉換等ノ爲ノ空中輸送ニ要スル糧食醫藥品及燃料ヲ海軍軍需部又ハ舞鶴要港部軍需部通常物品會計官吏ニ繰替供給スルコトヲ得ルノ作ナリ

官房機密第七四七〇號

當分ノ間左記海軍聯合航空隊ノ司令部附タル特務士官

以下ハ各其ノ下欄ノ鎮守府ヨリ之ヲ補充スベシ

昭和十三年官房機密第六七〇三號ハ之ヲ廢止ス

昭和十四年十二月一日

海軍大臣

記

隊名	補充鎮守府
第一聯合航空隊	橫須賀鎮守府
第十一聯合航空隊	橫須賀鎮守府
第十二聯合航空隊	吳鎮守府

(昭和十三年十二月十五日本欄參照)

海軍公報(部内限)第三千三百七十三號

昭和十四年十二月一日

一三九三

官房機密第六七六五號ノ二

昭和十四年官房機密第六七六五號中左ノ通改正ス

昭和十四年十二月一日

海軍大臣

第四艦隊	吳鎮守府	ヲ
第四艦隊	舞鶴鎮守府	ニ
第三遣支艦隊	吳鎮守府	ヲ
第三遣支艦隊	舞鶴鎮守府	ニ
第八戰隊	吳鎮守府	ヲ
第八戰隊	舞鶴鎮守府	ニ改ム

(昭和十四年十一月本欄参照)

官房第六一一八號

授要

昭和十二年官房第一二三二號中左ノ通改正ス

昭和十四年十二月一日

海軍大臣

海軍諸例
則登載

「舞鶴要港部」、「舞鶴要港部建築部長」及「舞鶴要港部軍需部長」ヲ削リ「海軍航空廠長」ヲ「海軍航空技術廠長」ニ、「海軍火藥廠長」ヲ「海軍火藥本廠長、海軍火藥支廠長」ニ改ム

(参照) 昭和十二年官房第一二三二號ハ海軍大臣ノ招集スル會議ニ關スル條件ナリ(諸例別卷一、七二七頁)

○通牒

軍需糧第一四四號
衣糧費豫算整理手續中左ノ通改正ス

昭和十四年十二月一日

海軍省軍需局長
海軍省經理局長

第二條中「(舞鶴要港部軍需部ヲ含ム以下之ニ做フ)ヲ削ル

第三條中「(舞鶴要港部ニ在リテハ所屬以外ノ艦船以下之ニ做フ)ヲ削ル

(會計法規集上卷一一四ノ三頁参照)

軍需糧第一四五號

糧食品及嗜好糧食品授受手續中左ノ通改正ス

<p>昭和十四年十二月一日 海軍省軍需局長 第四條中「(舞鶴要港ヲ含ム以下單ニ軍港トアルモノ皆同ジ)」ヲ削ル 第十一條中「(舞鶴ニ在リテハ舞鶴要港部所屬)」ヲ削ル <small>(會計法規類集中卷一七六ノ四頁參照)</small></p>	<p>經物第二〇八號 海軍契約規程施行手續中左ノ通改正ス 昭和十四年十二月一日 海軍省經理局長 第三十五條中「又ハ舞鶴要港」及「(舞鶴ニ在リテハ要港部經理部長)」ヲ削ル 第三十六條中「(舞鶴ニ在リテハ要港部經理部長)」ヲ削ル 第三十七條中「(又ハ舞鶴要港)」ヲ削ル 第三十八條、第三十八條ノ二及第三十九條中「(舞鶴ニ在リテハ要港部經理部長)」及「(又ハ舞鶴要港)」ヲ削ル 第四十條中「(又ハ舞鶴要港)」及「(舞鶴ニ在リテハ要</p>	<p>港部經理部長)」ヲ削リ「前二條」ヲ「前三條」ニ改ム 第四十三條中「(舞鶴ニ在リテハ要港部經理部)」及「(舞鶴ニ在リテハ要港部軍需部)」ヲ削ル <small>(會計法規類集下卷三三〇ノ六頁)</small></p>	<p>經物第二〇九號 國有財産整理資金ノ歳入徴收官收入區分中左ノ通改正ス 昭和十四年十二月一日 海軍省經理局長 歳入徴收官ノ欄中「舞鶴要港部經理部長」ヲ「舞鶴海軍經理部長」ニ、收入區分ノ欄中「舞鶴要港部管内」ヲ「舞鶴鎮守府管區内」ニ改ム <small>(會計法規類集上卷五八四ノ三頁參照)</small></p>	<p>○ 辭 令 通信書記 岡 平吉 海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金四拾圓ヲ贈與ス 海軍省事務囑託ヲ解ク 同 小山 榮</p>
---	--	---	--	--

海軍公報(部内限) 第三千三百七十三號

昭和十四年十二月一日

一三九五

<p>海軍省事務ヲ囑託ス(以上^{同上}海軍省)</p>	<p>海龍丸機關長 八代 菊次</p>
<p>佐世保海軍軍需部ニ於ケル業務ヲ囑託ス但シ報酬年額千八百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上^{同上})</p>	<p>海軍主計少將 加納 金三郎</p>
<p>支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(以上^{同上})</p>	<p>福田 義雄</p>
<p>支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス</p>	<p>海軍豫備少尉 松本 利一郎</p>
<p>支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス</p>	<p>朝鮮總督府土木事務官 高須 清一</p>
<p>(各通)</p>	<p>朝鮮總督府技師 待山 義雄</p>
<p>海軍燃料廠鑛業部ニ於ケル鎮南浦繫船工事業務囑託ヲ解ク</p>	<p>海軍豫備大尉 間庭 建爾</p>
<p>同</p>	<p>奥平 九一</p>
<p>同</p>	<p>岩田 信一</p>
<p>同</p>	<p>廣瀬 信治郎</p>
<p>同</p>	<p>神澤 政徳</p>
<p>同</p>	<p>佐久間 耕一</p>
<p>(各通)</p>	

<p>賜二級俸</p>	<p>同 同 海軍豫備中尉 今井 金矢 小島 瑋一 仁科 俊郎 松井 敏男 辻 靜男 北川 益衛</p>
<p>(各通)</p>	
<p>賜一級俸(以上^{同上}同)</p>	

<p>○雜款</p>	<p>○第四艦隊司令部宛郵便物ノ件 當艦隊司令部郵便物ニシテ第三遣支艦隊(舊第四艦隊)司令部宛ノモノト誤送スル向アリテ事務處理上支障尠カラザルニ付御留意相成度 尙當艦隊司令部宛郵便物ハ當分ノ間左記ノ通 佐世保 軍艦千歳 第四艦隊司令部 (第四艦隊)</p>
<p>○艙裝員事務所設置 軍艦隅田艙裝員事務所ヲ大阪市住吉區柴谷町藤永田造船所内ニ設置シ十一月二十七日ヨリ事務ヲ開始セリ</p>	

○艦船所在
指定ヲ要セズ

○十二月一日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、足柄▲、口高雄▲、陸奥、愛宕、夕張、口長門、摩耶、口赤城、口劍埼、山城、口那珂、口五十鈴、駒橋、迅鯨

島風▲

灘風▲、口村雨、春雨、夕立、五月雨、朧、口潮、晴、口大潮、荒潮、朝潮、満潮、雷、電

伊一二三、口伊二二四

富士▲、膠州、洲崎▲、鳴戸

高崎▲、(翔鶴)、(伊一七)▲、(伊二三)▲

【長浦】

沖島、沙風、口朝雲、山雲、帆風、峯雲、夏雲、曉、響、沼風

呂五四、呂五五、呂五六、口呂五七、呂五八、伊七、伊四

口掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六

伊六

横濱(香取)▲、(鹿島)▲

浦賀

北上▲、(不知火)▲、(早潮)▲、(時津風)▲

館山

大湊

野風、波風

【函館】

矢矧、淺間、淀、日向、口熊野▲、鳳翔、最上▲、巖島▲、古鷹▲、口加古、鬼怒、龍驤▲、口大鯨、伊勢、扶桑▲、大井、長鯨、白鷹、口神通、鈴谷、初鷹▲、口球磨、比叡、天龍、夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、磯波、初雪、口東雲、叢雲、薄雲、白雲、霞▲、口霞▲、陽炎、矢風、菊、口天鏡、朝霧、夕霧、口綾波、浦波、口葵

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、呂二八▲、伊五一、伊七〇、口伊六九▲、伊八▲、口伊五五▲、伊五三▲、伊五四▲、口伊七五▲、口伊七四▲、伊七二▲、伊七一▲、口伊七三▲、口伊二二一、伊二二二、伊五、口呂六三、呂六四、呂六八、伊六〇、口伊五九、伊五六、伊六八

雁 口掃一五、掃一六、掃一三、掃一四

攝津▲、明石▲、隠戸、間宮、石廊

(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲、(日進)▲

彌生▲、如月▲、夕月▲、卯月▲

(黒潮)▲、(夏潮)▲、(岡田)▲

木曾▲

口伊五七▲、伊五八▲、伊一、口伊二、伊三

神戶

大阪

大

神

海軍公報(部内限)第三千三百七十三號

昭和十四年十二月一日

一三九七

【相 生】瑞鶴(初風)伊二〇、伊二二、伊一九、伊一〇、朝顔、刈萱

【玉】呂六二

【因ノ島】文月、水無月、皐月、長月

【江田内】平戸、吾妻、多摩、利根、筑摩、龍田

【舞 鶴】羽風、太刀風、秋風、夕風、伊五二

【長 崎】親潮(天津風)

【佐世保】常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登、呂

川内、飛龍、霧島、金剛、八重山、妙高

梨、竹、樞、桃、柳、檜、蘆、蓼、菱、萩、柿、榆、初春、望月、睦月、菊月、三日月、江風、涼風、海風、山風、白露、有明、夕暮、時雨、夕風、朝風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六六、伊六六、伊六五、呂六七、呂六五、呂三四、呂三三、伊六二、伊六一、伊六四、伊六七

掃一、掃一〇、掃九、掃二、千鳥、敷島、早鞆、野島、雪風(磯風)伊一八、伊二四、鎮海、追風、疾風、作樂地、磐手、八雲、出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、伏見、瑞穂、鳥海、磯、千代田、勝力、蒼龍、栗、梅、蓮、松風、朝風、峯風、沖風、若葉、子日、初霜、春風、旗風、吹雪、白雪

伊六三、鷺、鳩、雉、友鶴、初雁、真鶴、掃一七、掃一八、掃八、掃七、朝日、佐多、襟裳

【航海中】

尻矢(十一月二十一日羅府發「ヒロ」)
室戸(十一月二十九日橫須賀發「吳」)
知床(十一月二十九日「バラオ」發「橫須賀」)
長良(十一月三十日佐世保發「舞鶴」)
神風(十一月三十日相生發「橫須賀」)

海軍公報

(部内限)第三千三百七十四號

昭和十四年十二月二日(土)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第二四一七號ノ五

機 要

臨時軍事費特別會計歳出科目申左ノ通追加ス

昭和十四年十二月一日

海 軍 大 臣

官房第六一五二號

機 要

特設海軍航空廠ニ於ケル工員ノ取扱及給與竝ニ施行工
事ニ要スル通常物品及工事費ノ整理ニ關シ當分ノ間左
ノ通定ム

昭和十四年十二月二日

海 軍 大 臣

一、工員ノ取扱及給與

(一) 所屬及身分

(イ) 工員ハ海軍工廠又ハ海軍航空技術廠(以下工
作應ト稱ス)ヨリ轉傭スルモノトス

轉傭及復歸ニ關シテハ海軍航空本部長又ハ海軍

艦政本部長ヲシテ指示セシム

(ロ) 工員ノ身分ハ軍屬トス

(二) 身上取扱

身上取扱ニ關シテハ左ノ各號ノ外海軍工員規則ニ
準シ取扱フモノトス

(イ) 工員手帳ヲ除クノ外工員身上關係書類ハ之ヲ

款

項

目

節

會計科目
電信略號

臨時軍事費(海軍臨時
軍事費)(雜費)

看守警査給助

ネ七

官房機密第二四一八號ノ六

臨時軍事費整理規程申左ノ通改正ス

昭和十四年十二月一日

海 軍 大 臣

第二條第一六號(六)中「死亡賜金、」ノ下ニ「看守警査
給助、」ヲ加フ

海軍公報(部内限)第三千三百七十四號

昭和十四年十二月二日

一三九九

- 轉備元應ニ保管シ所屬應ニ送付セズ必要ナル書類ハ簡易ナル寫等ノ送付ニ依リ處理スルモノトス
- (ロ) 級別ノ附與ハ轉備元應ト協議ノ上實施スルモノトス
- (ハ) 解備ヲ要スル事由發生シタルトキハ理由ヲ附シ轉備元應ニ復歸セシメタル上解備スルモノトス
- (三) 共濟組合關係
 工員ノ共濟組合關係ハ轉備元應ニ於ケル工員ト看做シ其ノ事務ハ轉備元應ニ於テ左ノ通處理スルモノトス
- (イ) 共濟部
 諸給付ハ轉備元應ニ復歸後ニ之ヲ行フ但シ私傷病給付療養金ハ之ヲ支給セズ
 掛金ハ規定ニ依リ本給支給ノ際之ヲ控除徵收ス
 (ロ) 健康保險部
 規定ニ依リ給付及掛金ノ徵收ヲ行ハズ
- (四) 給與
 (イ) 一等工員及二等工員ハ職手ニ準シ賃錢加給及不就業日給與ヲ支給ス
- (五) 通報
 (ロ) 休暇其ノ他傷疾疾病(故意ニ出タル場合ヲ除ク)ニ因リ休業スル日數ニ對シテハ海軍工員規則第五十五條第三項ノ規定ニ準シ賃錢ヲ支給ス但シ休暇中他ノ規定ニ依リ賃錢又ハ不就業日給與ヲ支給スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
 (ハ) 本給(海軍工員規則第五十四條、第五十五條ニ該當ノモノ不就業日給與(海軍工員規則第六十四ニ該當ノモノ)賞與(海軍工員規則第九十八條及第九十九條ニ該當ノモノ)及職工臨時給與規則第三條ノ二ノ規定ニ依ル手當ハ轉備元應ニ於テ支給スルコトヲ得
 (ニ) 昇給
 海軍工員規則第六十七條ノ場合ニ付テハ特設海軍航空廠ニ於テ實施ス
 前項以外ノ場合ニ於テハ轉備元應ヲ在籍屬ト看做シ轉備元應ハ特設海軍航空廠ト協議ノ上實施スルモノトス
 (ホ) 糧食
 工員ニ給スベキ糧食ハ最寄海軍艦船部隊ヨリ支給ヲ受クルコトヲ得

特設海軍航空廠長ハ三箇月毎ニ海軍工員規則第七條ノ規定ニ準シ海軍航空本部長及海軍艦政本部長ニ左ノ書類ヲ送付スルモノトス

工員々數増減報告

工員負傷疾病報告

工員死傷報告

工員賃錢加給支給報告

工員各種加給支給報告

工員表彰通報

工員懲戒通報

二、通常物品ノ整理

(一) 特設海軍航空廠施行工事に必要ナル物品ノ保管

出納ニ關シテハ主計科士官タル特設海軍航空廠部

員ヲ通常物品出納命令官トシ主計科特務士官タル

特設海軍航空廠附又ハ判任官以上タル特設海軍航

空廠附ヲ通常物品會計官吏トス

(二) 施行工事に用材料物品ハ工作應ヨリ供給ヲ受クル

モノトシ已ムヲ得ザル場合ニ限り直買スルモノト

(三) 海軍工廠資金所屬材料物品ノ供給ヲ受ケントス

ルトキハ直接工作應材料庫ニ之ヲ要求シ材料庫ハ

同一工作應工場庫ニ供給スルト同一ノ手續ニ依リ特設海軍航空廠ニ供給スルモノトス

(四) 工作應ヨリ供給ヲ受ケタル材料物品ノ出納ハ大

正十四年官房第二七一九號ノ規定ニ拘ラズ凡テ出

納原簿ニ記帳整理スルモノトス

(五) 特設海軍航空廠通常物品會計官吏ハ使用ノ見込

ナキ材料又ハ機械若ハ器具ヲ生ジタルトキハ工作

應通常物品會計官吏ニ保管轉換又ハ返却スルモノ

トス

(六) 特設海軍航空廠ヲ廢止シタルトキハ其ノ材料又

ハ機械若ハ器具ハ工作應通常物品會計官吏ニ保管

轉換又ハ返却スルモノトス

三、工事費整理

特設海軍航空廠施行工事に要スル工事費ハ各其ノ支

拂ヲ爲シタル工作應及特設海軍航空廠ニ於テ左ノ各

號ニ依リ整理スルモノトス

(一) 工作應ニ於ケル工事費整理

(イ) 所要工事豫算ハ請求ヲ俟ツテ別途配付ス

(ロ) 工作應ハ其ノ應ニ於テ支給シタル工費、供

給シタル直買又ハ資金若ハ資金外材料費等特

設海軍航空廠ノ爲ニ要シタル工事費ヲ支辨ス

(ハ) 工事費ハ一會計年度ヲ通シ「第一(第二)航空廠工作工事」トシ一工事ヲ以テ整理ス

(ニ) 工事費ハ總テ本費トシ附屬費ヲ賦課セズ

(ホ) 各工作廳ハ供給資金外材料物品ニ付明治四十年官房第一二六二號第五項ノ報告ヲ爲スモノトス

(二) 特設海軍航空廠ニ於ケル工事費整理

(イ) 工事費ハ一會計年度ヲ通シ一工事トシテ適宜ノ方法ニ依リ整理ス

(ロ) 海軍工作廳工事費整理規則第十號書式ニ準ジ經費支出年報ヲ調製シ翌年度六月末日迄ニ海軍航空本部長及海軍艦政本部長ニ提出スルモノトス

附則

本令ハ昭和十四年十月十五日ヨリ之ヲ適用ス

本令適用ノ際特務艦朝日及第十四航空隊ニ於テ使用中ノ機械器具及修理用材料ニ付テハ特設海軍航空廠之ヲ引繼受ノ上使用スルコトヲ得

○通牒

航本機密第二二二一〇號
昭和十四年十二月一日
海軍航空本部長

佐世保、廣海軍工廠長
海軍航空技術廠長
航空兵器修理材料供給ノ件通牒

航本機密第二七四一號首題通牒ニ左記ヲ追加ス

供給先 年額

○谷田部海軍航空隊 六、〇〇〇圓

○百里原海軍航空隊 六、〇〇〇圓

○岩國海軍航空隊 五、〇〇〇圓

(昭和十四年四月四日海軍公報(部内限)参照)

○辭令

遞信省事務官 足立 嘉夫

第二海軍軍用郵便所長ヲ免ス(其ノ補海軍省)

(各通)

海軍技術會議 山縣 正郷

議員海軍少將

海軍技術會議 大前 敏一

議員海軍中佐 石坂 竹雄

同

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス

海軍艦政本部出仕兼造
船監督官海軍造船中佐

中村 小四郎

神戸監理官ヲ命ス

海軍大尉 高橋 孫三郎

海軍武功調査委員ヲ命ス

支那事變從軍記章授與調査委員ヲ命ス(以上海軍省)

軍省)

第一課勤務ヲ命ス(海軍省人事局)
海軍少佐 大谷 龍藏
海軍少將 宇垣 纏

臨時戦史部長ヲ命ス(海軍司令部)

横須賀海軍經理部部長

海軍主計中佐 猪股 龍雄

艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

支那方面艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計少佐 森 寛

艦隊經費分任出納官吏ヲ免ス

支那方面艦隊經費分任出納官吏ヲ免ス(以上支那方面艦隊)

出官海軍省經理局長)

海軍主計中佐 石 潤 知 定

青島在勤武官ニ要スル經費支拂ノ爲支那方面艦隊經

費分任出納官吏ヲ命ス

同 鍋田 權藏

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上同)

海軍主計少佐 田 村 泰

軍艦香取艦裝員並ニ軍艦鹿島艦裝員ニ要スル經費支拂ノ爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス(同)

○ 雜 款

○ 旗艦變更

第二遣支艦隊司令長官ハ十一月二十二日旗艦ヲ妙高ヨリ鳥海ニ變更セリ

吳防備戰隊司令官ハ十一月二十九日旗艦ヲ初鷹ヨリ球磨ニ變更セリ

○ 將旗掲揚

第十二聯合航空隊司令官ハ本日大分海軍航空隊ニ將旗ヲ掲揚セリ

○ 司令潜水艦一時變更

第六潜水隊司令ハ十一月二十八日司令潜水艦ヲ呂號第五十七潜水艦ヨリ呂號第五十八潜水艦ニ一時變更同日復歸セリ

海軍公報(部内限) 第三千三百七十四號 昭和十四年十二月二日

一四〇四

○司令潜水艦變更
第十八潜水隊司令ハ十一月二十七日司令潜水艦ヲ伊號
第五十三潜水艦ニ變更セリ

○司令掃海艇變更
第十二掃海隊司令ハ十一月二十五日司令掃海艇ヲ第十
七號掃海艇ヨリ第十八號掃海艇ニ變更セリ

○懲罰

懲罰言渡書

	<p>○司令潜水艦變更 第十八潜水隊司令ハ十一月二十七日司令潜水艦ヲ伊號 第五十三潜水艦ニ變更セリ</p> <p>○司令掃海艇變更 第十二掃海隊司令ハ十一月二十五日司令掃海艇ヲ第十 七號掃海艇ヨリ第十八號掃海艇ニ變更セリ</p> <p>○懲罰</p> <p>懲罰言渡書</p>

○艦船所在 指定ヲ要セズ

○十二月二日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、足柄▲、口高雄▲、
陸奥、愛宕、夕張、口長門、摩耶、口赤城、
口劍埼、山城、口那珂、口五十鈴、駒橋、
迅鯨

島風▲、灘風▲、口村雨、春雨、夕立、
五月雨、朧、口潮、曙、口大潮、荒潮、
朝潮、満潮、雷、電

伊一二三、口伊一二四

富士▲、膠州、洲埼▲、鳴戸

(高崎)▲、(翔鶴)、(伊一七)▲、(伊二三)▲

【長浦】

沖島
沙風、口朝雲、山雲、帆風、峯雲、夏雲、
曉、櫻、沼風、神風

呂五四、呂五五、呂五六、口呂五七、
呂五八、伊七、伊四、伊六

口掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六

【横濱】

(香取)▲、(鹿島)▲
北上▲

【浦賀】

速▲、狹霧▲
(不知火)▲、(早潮)▲、(時津風)▲

【館山】

澤風
大湊、口野風、波風

呂五九

【函館】

大泊
萩▲
矢矧、淺間、淀、日向、口熊野▲、鳳翔、
最上▲、殿島▲、古鷹▲、口加古、鬼怒、龍驤▲
口大鯨、伊勢、扶桑▲、大井、長鯨、白鷹、
口神通、鈴谷、初鷹、口球磨、比叡、天龍
夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、
磯波、初雪、口東雲、叢雲、薄雲、白雲、
霞▲、口叢、陽炎、矢風、菊、口天鷲、
朝霧、夕霧、口綾波、浦波、口葵

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲
呂二八▲、伊五一、伊七〇、口伊六九▲
伊八▲、口伊五五、伊五三▲、伊五四▲
口伊七五▲、口伊七四、伊七二▲、伊七一▲
口伊七三▲、口伊一二一、伊一二二、
口呂六三、呂六四、呂六八、伊五六、伊六八

口掃一五、掃一六、掃二三、掃一四
檣津▲、明石▲、隱戸、間宮、石廊
(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲、(日進)▲
彌生▲、如月▲、夕月▲、卯月▲
(黒潮)▲、(夏潮)▲、(隅田)▲
木曾▲

伊三
口伊五七▲、伊五八▲、伊一、口伊二、
(瑞鶴)▲、(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲
(伊一九)▲、(伊一〇)▲

【大坂】

神戶

【大湊】

神戶

【神戶】

木曾▲

海軍公報(部内限) 第三千三百七十四號 昭和十四年十二月二日

【相生】芙蓉、朝顔、刈萱

鶴見

【玉】呂六二

【因ノ島】文月、水無月、皐月、長月

【江田内】平戸

【舞鶴】吾妻、多摩、利根、筑摩、龍田、長良

羽風、太刀風、秋風、夕風

伊五二

伊集、鴨、鴻、鶴

【親潮】(天津風)

【長崎】羽黒

【佐世保】常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登、呂

川内、飛龍、霧島、金剛、八重山、

妙高

梨、竹、榎、桃、柳、檜、蓮、薔、菱

【葦】梯、檜、初春、望月、睦月、

【菊】月、三日月、江風、涼風、海風、

山風、白露、有明、夕暮、時雨、

【夕風】朝風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、

呂六六、伊六六、伊六五、呂六六、

呂六五、呂三四、呂三三、伊六二、

伊六一、伊六四、伊六七

掃一一、掃一〇、掃九、掃一二

千鳥

敷島、早瀬、野島

【雪風】(磯風)(伊一八)(伊二四)

【鎮海】追風、疾風

【パオ】磐手、八雲

【作業地】出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、

熱海、二見、伏見、瑞穂、鳥海、嵯峨、

千代田、勝力、蒼龍

栗、梅、蓮、松風、朝風、峯風、沖風、

若葉、子日、初霜、春風、旗風、吹雪、

白雪

伊六三

鷲、鳩、雉、友鶴、初雁、真鶴

掃一七、掃一八、掃八、掃七

朝日、佐多、襟裳

【航海中】

尻矢 (十一月二十一日羅府發「ヒロ」)

室戸 (十一月二十九日橫須賀發「吳」)

知床 (十一月二十九日「パオ」發「横須賀」)

伊五 (十一月三十日吳發「廣島灣」)

伊五九、伊六〇 (十一月三十日吳發「伊豫灘」)

海軍公報

(部内限)第三千三百七十五號

昭和十四年十二月四日(月)

海軍大臣官房

○令 達

官房第一五六三號ノ六

機 要

昭和十二年官房第四三六八號中第一類及第二類ヲ別紙ノ通改メ同備考ニ左ノ一號ヲ加フ

六 特別役務艦船ハ第一豫備艦ニ準ズ

昭和十四年十二月一日

海 軍 大 臣

(別紙)

第一類

- 海 軍 省
- 海 軍 令 部
- 海 軍 艦 政 本 部 (造船造兵監督官令ニ定ムルモノニシテ内地駐在ノモノ共)
- 海 軍 航 空 本 部 (右ニ同シ)
- 東 京 軍 法 會 議 府
- 鎮 守 府

- 海 軍 人 事 部
- 海 軍 經 理 部
- 海 軍 建 築 部 (出張所共)
- 海 軍 需 部 (軍需支部、同支庫及燃料貯藏場共)
- 海 軍 艦 船 部
- 地 方 海 軍 人 事 部
- 海 軍 工 廠
- 海 軍 航 空 技 術 廠
- 海 軍 火 藥 廠
- 海 軍 燃 料 廠
- 海 軍 技 術 研 究 所 (出張所共)
- 水 路 部
- 海 軍 病 院 (練習部共)
- 海 軍 港 務 部 (支部共)
- 海 軍 兵 團 (練習部共)
- 防 備 隊
- 海 軍 航 空 隊 及 附 屬 艦 船 (特設聯合航空隊ニ屬スルモノ)

海軍公報(部内限)第三千三百七十五號

昭和十四年十二月四日

一四〇七

海軍通信隊(分遣隊共)
ニ在リテハ殘留隊ノミ)

防備戰隊(豫備艦以下ヲ除ク)

要港部(港務部、工作部及病院共)及其ノ附屬艦船(豫備艦船(隊)ヲ除ク)

在役艦船(今次事變ニ關シ特別任務ヲ有スルモノニシテ戰地外ニ在ル場合)

第二類 豫備戰隊(豫備艦以下ノミ)

在役艦船(第一類ニ屬スルモノヲ除ク)

豫備艦船ニシテ學校航空隊等ノ練習用ニ充テラレ現ニ練習ノ用務ニ從事スルモノ

豫備艦船ニシテ軍港要港其ノ他所在地ノ警戒防衛任務ニ從事スルモノ

(第一類及前各項ニ該當スルモノヲ除ク) 鎮守府軍法會議及要港部軍法會議

海軍監獄 學校及海軍技手養成所

官房第六一七一號 提 擧 昭和十三年勅令第五百六十六號、海軍武官任用令第十

八條、同第二十八條ノ規定ニ依リ海軍造船科、造機科及造兵科士官ヲ採用ス之ガ取扱ニ關シ左ノ通定ム

昭和十四年十二月四日

海軍大臣

- 一、現ニ造船、造機又ハ造兵ノ業務ニ從事シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ海軍造船科、造機科又ハ造兵科士官タランコトヲ志願スルモノハ昭和十五年二月十日迄ニ別紙様式ニ依リ願書(脱帽ノ寫眞^{半身手札}形^{無蓋紙}添一葉ヲ附ス)ニ履歷書、戶籍謄本及身元證明書ヲ添へ順序ヲ經テ海軍大臣ニ願出ヅベシ但シ二年現役士官タランコトヲモ併セ志願スルモノハ二年現役士官ニ對スル願書ヲ要セズ此ノ場合ニ於テハ願書末尾ニ第一志望轉官(二年現役士官) 第二志望二年現役士官(轉官)ト附記スルヲ要ス
- (一) 大學令ニ依ル大學ノ工學部又ハ理學部ニ於テ學課ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者ニシテ昭和十五年五月一日ニ於テ滿三十九歳以下ノモノ
- (二) 造船、造機又ハ造兵ニ必要ナル學術技藝ヲ教授スル專門學校又ハ之ト同等以上ノ學校ニ於テ造船科、造機科又ハ造兵科ノ士官ニ必要ナル學課ヲ修メ卒業シタル者ニシテ昭和十五年五月一日ニ於テ

滿三十二歳以下ノモノ

二、現ニ造船、造機又ハ造兵ノ業務ニ從事スル者ニシテ前項第一號ノ學歷ヲ有シ昭和十五年五月一日ニ於テ滿三十九歳以上ノ者及前項第二號ノ學歷ヲ有シ昭和十五年五月一日ニ於テ滿三十二歳以上ノ者ニシテ海軍造船科、造機科又ハ造兵科士官ニ適スト認ムル者アルトキハ其ノ旨海軍省人事局長ヲシテ所轄長ヲ經テ之ヲ本人ニ通知セシム

前記ノ通知ヲ受ケタル者ニシテ海軍造船科、造機科又ハ造兵科士官タラシコトヲ志願スルモノハ前項ノ手續ニ依リ昭和十五年三月三十一日迄ニ海軍大臣ニ願出ヅベシ

三、採用試験ハ第一項該當者ノミニ對シ四月上旬ニ於テ實施シ其ノ細目ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

四、所轄長ハ第一項志願者ニシテ採用試験終了者ニ就キ別紙様式ニ依ル所見表ヲ調製シ試験終了後五日以内ニ順序ヲ經テ之ヲ海軍省人事局長ニ送付スベシ

(別紙二葉添)

○ 通 牒

海人第一號ノ一七八

昭和十四年十二月四日

海軍省人事局長

關係各所轄長殿

海軍造船科、造機科及造兵科士官任用區分ニ關スル件申進

本年官房第六一七一號ニ依ル海軍造船科、造機科及造兵科士官ノ任用ハ左記區分ニ依リ實施セララルモノト了知相成度

記

- 一、海軍技師又ハ技手ハ昭和十三年勅令第五百六十六號ニ依リ銚衡ノ上技師ニ在リテハ概テ同官等ノ海軍造船科、造機科又ハ造兵科士官ニ、技手ニ在リテハ海軍造船、造機又ハ造兵中、少尉ニ夫々任用セララル
- 二、海軍囑託又ハ工員ニシテ大學令ニ依ル大學ノ工學部又ハ理學部ニ於テ學課ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ルモノニシテ現ニ造船、造機又ハ造兵ノ業務ニ從事スルモノハ海軍武官任用令第十八條ノ規定ニ依リ銚衡ノ上海軍造船、造機又ハ造兵中尉ニ任用セララル
- 三、海軍囑託又ハ工員ニシテ造船、造機又ハ造兵ニ必要ナル學術技藝ヲ教授スル專門學校又ハ之ト同等以

海軍公報(部内限)第三千三百七十五號

昭和十四年十二月四日

一四〇九

上ノ學校ニ於テ造船科、造機科又ハ造兵科ノ士官ニ必要ナル學課ヲ修メ卒業シタルモノニシテ現ニ造船、造機又ハ造兵ノ業務ニ従事スルモノハ海軍武官任用令第二十八條ノ規定ニ依リ銓衡ノ上海軍造船、造機又ハ造兵少尉ニ任用セラル

艦本機密第二五三七號
昭和十四年十二月一日

海軍艦政本部長

關係各廳長殿

各種砲特型演習彈識別ノ件通知

特型演習彈ハ一般演習彈ト識別ノ爲頭部及底面ニ「特」ト白書致シアリ候條可然了知相成度
追テ本演習彈ハ對標的艦射撃用トシテ特令ニ依リ供給セラルルモノニ有之

○辭令

海軍技術會議議員海軍造艦大佐 塚原 盛
海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス(十四海軍省)
海軍主計少佐 森 寬
第二課勤務ヲ命ス(十四海軍省經理局)

海軍主計中尉 高木 彰
驅逐艦黒潮機裝員ニ要スル經費支拂ノ爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス(十四支官海軍省經理局長)

○雜款

○旗艦變更
吳防備戰隊司令官ハ十一月二十九日旗艦ヲ初鷹ヨリ球磨ニ變更セリ

○軍艦比叡行動豫定

吳地	着	發
吳府	十二月三日	十二月三日
吳別府	十二月六日	十二月六日
吳別府	十二月十日	十二月十日
吳別府	十二月十三日	十二月十三日

○特設運送船金龍丸行動豫定

吳地	着	發
吳鶴	十二月四日	十二月三日
長崎	十二月七日	十二月六日
佐世保	十二月八日	十二月八日
西戶崎	十二月十一日	十二月十四日

吳	須賀	十五日	十七日
大	阪	十八日	二十二日
佐	保	二十三日	二十四日
世		二十五日	二十七日
吳		二十八日	

○郵便物發送先
軍艦比叡宛
十二月五日迄ニ到達見込ノモノハ別府
同九日迄ニ同
同十二日迄ニ同
其ノ後ハ別府

○開隊
岩國海軍航空隊ハ十二月一日左記ノ所ニ開隊セリ

山口縣玖珂郡川下村
電話
部内電話 吳鎮守府交換
市中電話 〔今津〕二二七番
〔岩國〕四二六番
追テ下車驛ハ山陽線麻里布(陸路一里未滿)爲念

海軍公報(部内限)第三千三百七十五號

昭和十四年十二月四日

一四二

昭和 年 月 日	績成査檢體身	績成驗試		歷 經		概 狀 家 要 況 庭		地 驗 受	所 見 表
			ス試 ル問 成ニ 績對		年 月 日			序順拔選	
			言語態度					別門專	
	課 考	一 般 所 見		性 行 技 能 勤 務	官 (職)	擔 任 業 務	成 績	卒 業 年 次	
級 棒 (職) 現 官	名 氏								
所轄長 職官 氏 名 ㊦									年 齡
									受 驗 年 月 日

(別紙)
(用紙適宜)

(昭和十四年十二月四日公報(部内限))

(別紙)
願書式其ノ一(用紙美濃白紙)

(昭和十四年十二月四日公報(部内限))

本籍 現住所 職官位勳 氏 名 ㊦

海軍大臣宛

海軍造船科士官(海軍造船機科士官)任用願
海軍造兵科士官

私儀昭和十三年勅令第五百六十六號ニ依ル海軍造船科士官(海軍造船機科士官)志願ニ付任用相成度
(履歷書、戸籍謄本及身元證明書添)

(終)

願書式其ノ二(用紙美濃白紙)

本籍 現住所 職位勳 氏 名 ㊦

海軍大臣宛

海軍造船中(少)尉(海軍造船機中(少)尉)任用願
海軍造兵中(少)尉

私儀海軍武官任用令第十八條(第二十八條)ノ規定ニ依ル海軍造船中(少)尉(海軍造船機中(少)尉)志願ニ付任用相成度
(履歷書、戸籍謄本及身元證明書添)

(終)

履歷書式(用紙美濃白紙)

書 戸主又ハ戸主トノ續柄 氏 名

履 何年何月何日生

何年何月何日生

一、修學及卒業シタル學校名(中等學校以上)並ニ其ノ年月日(修業證書寫及卒業證書寫ヲ別紙トシテ添附スルヲ要ス)

二、海軍文官、囑託又ハ工員トシテノ經歷

右ノ通相違ナシ

年 月 日

右

氏 名 ㊦

身元證明書式(用紙美濃白紙)

身元證明書 氏 名 ㊦

本籍 何年何月何日生

一、兵役ノ關係(武官トシテ陸軍ノ兵籍ニ在ルモノハ任用セズ)

一、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナシ

一、破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルコトナシ「又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルモ復権ヲ得タリ」

右ノ通相違ナシ

年 月 日

市(區)町(村)長 氏 名 ㊦

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十二月四日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、足柄▲、口高雄▲、陸奥、愛宕、夕張、口長門、摩耶、口赤城、

口劍埼、山城、口那珂、口五十鈴、駒橋、

迅鯨

島風▲、灘風▲、口村雨、春雨、夕立、

五月雨、朧、口潮、曙、口大潮、荒潮、

朝潮、滿潮、雷、電

伊一二三、口伊一二四

富士▲、膠州、洲崎▲、鳴戸

(高崎)▲、(翔鶴)、(伊一七)▲、(伊二三)▲

【長浦】

沖島

沙風、口朝雲、山雲、帆風、峯雲、夏雲、

曉、響、沼風、神風

呂五四、呂五五、呂五六、口呂五七、

呂五八、伊七、伊四、伊六

口掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六

北上▲

(不知火)▲、(早潮)▲、(時津風)▲

漣▲、狹霧▲

浦賀

館山

大湊

野風、波風

呂五九

【函館】

【吳】

大泊
萩▲
矢矧、淺間、淀、日向、口熊野▲、鳳翔、
最上▲、殿島▲、古鷹▲、口加古、鬼怒、龍驤▲、
口大鯨、伊勢、扶桑▲、大井、長鯨、白鷹、
口神通、鈴谷、初鷹、口球磨

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、
磯波、初雪、口東雲、叢雲、薄雲、白雲、
霞▲、口掖▲、陽炎、矢風、菊、口天霧、
朝霧、夕霧、口綾波▲、浦波▲、口葵

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、
呂二八▲、伊五一、伊七〇、伊六九▲、
伊八▲、伊五五▲、口伊五三▲、伊五四▲、
口伊七五▲、口伊七四▲、伊七二▲、伊七一▲、
口伊七三▲、口伊二二、伊二二、
口伊六三、呂六四、呂六八、伊五六、
口伊六八、伊五、口伊五九、伊六〇

雁

口掃一五、掃一六、掃一三、掃一四

攝津▲、明石▲、隱戸、間宮、石廊、佐多、室戸

(日進)▲、(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲

彌生▲、如月▲、夕月▲、卯月▲

(隅田)▲、(黒潮)▲、(夏潮)▲

木曾▲

口伊五七▲、伊五八▲、伊一、口伊二、
伊三

(瑞鶴)▲、(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲

【大阪】

【神戸】

海軍公報(部内限)第三千三百七十五號

昭和十四年十二月四日

一四一三

【相生】伊一九、伊二〇、朝顔、刈萱

【玉】呂六二

【因ノ島】文月、水無月、阜月、長月

【江田内】平戸

【別府】比叡

【舞鶴】吾妻、多摩、利根、筑摩、龍田、長良

伊五二、羽風、太刀風、秋風、夕風

伊五二、雀、鴨、鴻、鶺鴒

【長崎】(親潮)、(天津風)、常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登呂

【佐世保】千歳、榛名、名取、阿武隈、由良、川内

飛龍、霧島、金剛、八重山、妙高

梨、竹、樞、桃、柳、檜、蘆、蓼、蓬、菱

萩、楓、楡、初春、望月、睦月、

山風、白露、有明、夕暮、時雨

夕風、朝風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、

呂六六、伊六六、伊六五、呂六六、呂六七、

呂六五、呂三四、呂三三、伊六二、

伊六二、伊六四、伊六七

掃一、掃一〇、掃九、掃二二

千鳥、敷島、早瀬、野島

【鎮海】追風、疾風、(雪風)、(磯風)、(伊一八)、(伊二四)

【作業地】出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、

熱海、二見、伏見、瑞穂、鳥海、嵯峨、

千代田、勝力、蒼龍

栗、梅、蓮、松風、朝風、峯風、沖風、

若葉、子日、初霜、春風、旗風、吹雪、

白雪

伊六三

鷺、鳩、雉、友鶴、初雁、真鶴

掃一七、掃一八、掃八、掃七

朝日、襟裳

【航海中】

尻矢 (十一月二十一日羅府發「ヒロ」)

知床 (十一月二十九日「パラオ」發「横須賀」)

磐手、八雲 (三日「パラオ」發「サイパン」)

天龍 (三日吳發「舞鶴」)

海軍公報

(部内限) 第三千三百七十六號

海軍大臣官房

昭和十四年十二月五日(火)

○ 通 牒

教育第二一九號

昭和十四年十二月二日

海軍諸例
則登載

海軍省 教育局長

關係各廳長殿

逕信大臣ノ管理スル海員養成所ニ配屬
セラレタル海軍現役武官ノ執務其ノ他
ニ關スル件申進

首題ニ關シ別紙甲號逕信省管船局長宛協議ニ對シ同乙
號ノ通異存無之旨回答有之候條了知相成度

(別紙)

(甲號)

教育第一五一號

昭和十四年九月五日

海軍省 教育局長

逕信省管船局長殿

海軍公報(部内限) 第三千三百七十六號

昭和十四年十二月五日

一四一五

海員養成所配屬海軍現役武官ノ執務
其ノ他ニ關スル件協議

記

一、配屬武官ノ職務ノ範圍

(一) 所長ノ命ヲ承ケ生徒監補ヲ區處シ生徒ノ訓育ヲ
掌ル(配屬武官ニ生徒監ヲ囑託ス)

(二) 所長ノ命ヲ承ケ生徒監補ヲ區處シ寄宿舎ニ於ケ
ル規律ノ振肅及生徒ノ躾教育ヲ掌ル

(三) 左ノ執務ヲ擔當ス但シ每週擔當執務時數ハ十四
時間以内トス

軍事學及演習

航海術及運用術ノ一部

體 操

技業ノ一部

二、軍事學及演習ノ内容一般

(二)(一) 海軍須知事項一般

陸戰教練

○ 辭 令

(各通) 同 船 長 上原 榮喜
同 一等運轉士 加藤 秀雄
同 機關長 松本 貞助

佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任
官待遇トス(海軍省)

(各通) 同 船 長 上原 榮喜
同 一等運轉士 加藤 秀雄
同 機關長 松本 貞助

佐世保海軍港務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(海軍省)

昌平丸 船 長 竹内 儀七
同 一等運轉士 沖村 靜雄
同 三等運轉士 杉本 茂

同 機關長 西脇 朝喜
同 一等機關士 藤村 末廣
同 二等機關士 江口 喜市

同 通信局長 齋藤 武彦
同 二等運轉士 郡山 徹志
同 三等機關士 三好 正實

(各通) 同 船 長 上原 榮喜
同 一等運轉士 加藤 秀雄
同 機關長 松本 貞助
同 二等運轉士 沖村 靜雄
同 三等運轉士 杉本 茂
同 機關長 西脇 朝喜
同 一等機關士 藤村 末廣
同 二等機關士 江口 喜市
同 通信局長 齋藤 武彦
同 二等運轉士 郡山 徹志
同 三等機關士 三好 正實

- (三) 陸戰要務
- (四) 小銃射撃
- (五) 手旗信號法
- (六) 艦船兵器機關ノ大要
- (七) 防空要務一般
- (八) 軍事講話

三、配屬武官ノ官階
高等官タル現役武官ヲ配屬ス

(乙號)

海第四五三九號

昭和十四年十一月十八日

遞信省管船局長

海軍省教育局長殿

海員養成所配屬海軍現役武官ノ執務

其ノ他ニ關スル協定ノ件

對教育機密第三五七號 十月五日附

本件ニ關シ御協議ノ次第有之候處協定事項各號ニ付テハ異存無之候處右ノ事項中一、ノ(一)及(二)ニ關シテハ生徒監ニ關スル規程ノ制定ヲ要スルモノナルニ付目下之ガ制定方手續中ニ有之候間右ニ御了承相成度

佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任 官待遇トス <small>(六十二年同)</small>	白馬山丸 船 長 牛島 七兵衛	同 一等運轉士 西川 繁夫	同 二等運轉士 乘本 愛一	同 三等運轉士 栗田 敏雄	同 通信局長 野田 義松	同 機關長 蔦田 晃	同 首席一等機關士 石渡 敏	同 次席一等機關士 額田 晴美	同 首席二等機關士 鶴井 進	同 次席二等機關士 井上 實郎	同 二等機關士 岡本 富三雄	同 三等運轉士 三好 勇	同 三等機關士 柳川 元一	同 川崎 武義	佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任 官待遇トス <small>(六十二年同)</small>	山百合丸 船 長 仲岡 春巳	同 一等運轉士 室 伊三郎	同 二等運轉士 中村 宮一
(各通)	同 三等運轉士 藏本 清弘	同 機關長 新保 勇三	同 通信局長 井上 清七	同 一等機關士 石川 作次郎	同 二等機關士 塚原 正雄	佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任 官待遇トス <small>(七十二年同)</small>	白馬山丸 三等機關士 柳川 元一	佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任 官待遇トス	昌平丸 二等運轉士 齋藤 彦三	佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任 官待遇トス	昌平丸 二等運轉士 郡山 徹志	佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任 官待遇トス	白馬山丸 三等機關士 太田 稔	同 一等運轉士 中島 漸	佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任 官待遇トス	白馬山丸 一等運轉士 西川 繁夫	同 二等機關士 岡本 富三雄	

海軍公報(部内限) 第三千三百七十六號 昭和十四年十二月五日 一四一七

佐世保海軍港務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(以上
十月三十日同)

白馬山丸 三等運轉士 宇都宮 文壽
佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任
官待遇トス(十月三十日同)

白馬山丸 三等運轉士 三好 勇
佐世保海軍港務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(十月二十六日
同)

昌平丸 三等機關士 鷹尾 留吉
佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任
官待遇トス(八月三十日同)

昌平丸 二等機關士 藤井 繁一
佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任
官待遇トス(八月三十日同)

智福丸 船 長 馬場 幸
二等運轉士 的場 虎之助
三等運轉士 中村 源吉
一等機關士 前川 正一
二等機關士 廻 徳里

同 通信局長兼事務長 彌永 民平
佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任

官待遇トス

六甲山丸 船 長 宮崎 幸平
一等運轉士 高田 弘
二等運轉士 福森 繁福
機關長 森田 貞輔
一等機關士 大門 喜二郎
二等機關士 栗飯原 重晴

同 同
佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任
官待遇トス(以上九月十四日同)

山百合丸 二等機關士 西村 久八
佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任
官待遇トス

山百合丸 二等機關士 塚原 正雄
佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任
官待遇トス(九月十四日同)

白馬山丸 首席三等運轉士 林 清 見
佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任
官待遇トス

白馬山丸 三等運轉士 栗田 敏雄
佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任
官待遇トス(九月十四日同)

(各通) 智福丸 一等運轉士 櫻井 武夫
 同 機關長 竹内 小太郎
 佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任
 官待遇トス(十一月九日同)

昌平丸 三等機關士 鷹尾 留吉
 佐世保海軍港務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(十一月三日同)

昌平丸 二等機關士 藤井 繁一
 佐世保海軍港務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(十一月三日同)

昌平丸 三等機關士 三好 正實
 佐世保海軍港務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(十一月三日同)

白馬山丸 事務長 中村 勇夫
 佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任
 官待遇トス(十一月三日同)

昌平丸 次席一等機關士 新谷 貞雄
 佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任
 官待遇トス(十一月九日同)

智福丸 三等運轉士 永山 將義
 佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任
 官待遇トス

智福丸 三等運轉士 中村 源吉

佐世保海軍港務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(以上
 十一月三日同)

(各通)

おは丸 船 長 山本 長三
 同 一等運轉士 宍戸 平吉
 同 一等機關士 北風 金次郎
 同 機關長 山田 義助
 佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任
 官待遇トス(十一月三日同)

(各通)

昌平丸 船 長 竹内 儀七
 同 一等運轉士 沖村 靜雄
 同 二等運轉士 齋藤 彦三
 同 三等運轉士 杉本 茂
 同 機關長 西脇 朝喜
 同 一等機關士 藤村 末廣
 同 次席一等機關士 新谷 貞雄
 同 二等機關士 江口 喜市
 同 三等機關士 村上 一馬
 同 通信局長 齋藤 武彦
 佐世保海軍港務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(十一月三日同)

山百合丸 船 長 仲岡 春巳

同	一等運轉士	室 伊三郎
同	二等運轉士	中村 宮一
同	三等運轉士	藏本 清弘
(各通)	機關長	新保 勇三
同	通信局長	井上 清七
同	一等機關士	石川 作次郎
同	二等機關士	西村 久八
同	佐世保海軍港務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク <small>(十一月十九日)</small>	
同	智福丸	二等運轉士 季 哉 松
同	佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス	
同	福智丸	二等運轉士 的場 虎之助
同	佐世保海軍港務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(以上 <small>十一月十六日</small> 同)	
同	智福丸	船 長 馬場 幸
同	一等運轉士	櫻井 武夫
同	二等運轉士	季 哉 松
同	三等運轉士	永山 將義
(各通)	機關長	竹内 小太郎
同	一等機關士	前川 正一
同	二等機關士	廻 德里
同	通信局長兼事務長	彌永 民平
同	佐世保海軍港務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク <small>(十一月同)</small>	
同	白馬山丸	船 長 牛島 七兵衛
同	二等運轉士	乘本 愛一
同	通信局長	野田 義松
同	機關長	蒔 田 晃
同	首席一等機關士	石 渡 敏
同	次席一等機關士	額 田 晴美
同	首席二等機關士	鶴 井 進
同	次席二等機關士	井 上 實郎
同	三等運轉士	宇 都 宮 文壽
同	三等機關士	太 田 稔
同	一等運轉士	中 島 漸
同	首席三等運轉士	林 清 見
同	事務長	中 村 勇 夫
同	三等機關士	川 崎 武 義
同	佐世保海軍港務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク <small>(十一月同)</small>	
同	六甲山丸	二等運轉士 福 森 繁 福
同	佐世保海軍港務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク	
同	六甲山丸	二等運轉士 稻 村 薫

佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限委任
官待遇トス(以上(註同))

神祥丸 船 長 高森 力吉

同 一等運轉士 松屋 鶴吉

同 二等運轉士 柳生 茂久次

同 三等運轉士 大内 正之

同 同通信局長兼事務長 九島 宗輝

同 機關長 石井 滲

同 一等機關士 大澤 信之助

同 二等機關士 大木 岩雄

同 佐世保海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限委任
官待遇トス(註同)

神祥丸 船 長 高森 力吉

同 一等運轉士 松屋 鶴吉

同 二等運轉士 柳生 茂久次

同 三等運轉士 大内 正之

同 同通信局長兼事務長 九島 宗輝

同 機關長 石井 滲

同 一等機關士 大澤 信之助

同 二等機關士 大木 岩雄

同 佐世保海軍港務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(註同)

(各通)

おは丸 船 長 山本 長三

同 一等運轉士 宍戸 平吉

同 一等機關士 北風 金次郎

同 機關長 山田 義助

佐世保海軍港務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(註同)

海軍大佐 水井 靜 治(艦 本)

海軍中佐 中村 謙 治(不知火)

海軍大尉 白石 信 秋(同)

同 福 山 修(同)

海軍機關大佐 島田 藤 治郎(艦 本)

海軍機關中佐 松 末 元 完(艦 本)

海軍機關少佐 服 部 知 一(不知火)

海軍造船少佐 齋 藤 貫 二 郎(艦 本)

同 近 藤 忠 夫(艦 本)

海軍技師 小 林 潔(艦 本)

驅逐艦不知火審議委員ヲ命ス

海軍中佐 佐々木 靜 吾(艦 本)

海軍少佐 宇都木 秀 次 郎(巨 濟)

海軍機關中佐 松 木 正 彦(艦 本)

海軍造船大尉 山 下 啓 三(同)

海軍技師 大 野 隼 二(艦 本)

(各通)

海軍公報(部内限) 第三千三百七十六號

昭和十四年十二月五日

一四二

同 川名忠兵衛(同)
 同 小見川 信(同)
 同 高橋 健 二(同)

敷設艇巨濟審議委員ヲ命ス(以上三日前海軍艦政本部)

○ 雜 款

○旗艦變更
 第十三戰隊司令官ハ十二月二日旗艦ヲ飛鳥ヨリ日本海丸ニ變更セリ

○司令驅逐艦變更
 第二十二驅逐隊司令ハ十一月二十九日司令驅逐艦ヲ長月ヨリ文月ニ、同三十日文月ヨリ水無月ニ變更セリ

○郵便物發送先
 第一驅逐隊波風、野風宛

十二月十二日迄ニ到達見込ノモノハ 室 蘭
 其ノ後ハ 大 湊

特務艦佐多宛
 自今 吳

伊號第四潜水艦宛
 十二月十日迄ニ到達見込ノモノハ 横 須 賀

其ノ後ハ 玉

特務艦第三十六共同丸宛

自今 佐世保郵便局氣付

○事務所撤去
 羅津防備隊(假稱)設立準備員事務所ヲ十二月一日之ヲ撤去セリ

○工場移轉
 佐世保海軍工廠航空機部發動機工場十二月一日日宇ニ移轉セリ

○艦船所在 指▲印△ハカニ

○十二月五日午前十時調

【横須賀】春日▲、神威▲、三隈▲、足柄▲、口高雄▲、陸奥、愛宕、夕張、口長門、摩耶、口赤城、口劍埼、山城、口那珂、口五十鈴、駒橋、迅鯨

島風▲、灘風▲、口村雨、春雨、夕立、五月雨、朧、口潮、曙、口大潮、荒潮、朝潮、満潮、雷、電

伊一三三、口伊一二四、富士▲、膠州、洲崎▲、鳴戸

【長浦】▲(高崎)▲(翔鶴)▲(伊一七)▲(伊二三)▲

▲(沖島)▲沙風、口朝雲、山雲、帆風、峯雲、夏雲、曉、響、沼風、神風

呂五四、呂五五、呂五六、口呂五七、呂五八、伊七、伊四、伊六

▲(香取)▲(鹿島)▲

【浦賀】北上▲

▲(不知火)▲(早潮)▲(時津風)▲

▲(狭霧)▲

【館山】澤風

▲(大湊)▲(野風、波風)▲呂五九

【函館】

大泊 萩▲、矢矧、淺間、淀、日向、口熊野▲、風翔、最上▲、嚴島▲、古鷹▲、口加古、鬼怒、龍驤▲、口大鯨、伊勢、扶桑▲、大井、長鯨、白鷹、口神通、鈴谷、初鷹、口球磨

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、磯波、初雪、口東雲、叢雲、薄雲、白雲、霞▲、口掖▲、陽炎、矢風、菊、口天雲、朝霧、夕霧、口綾波▲、浦波▲、口葵

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八▲、伊五一、伊七〇、伊六九▲、伊七八▲、伊五五▲、口伊五三▲、伊五四▲、伊七五▲、口伊七四▲、伊七二▲、伊七一▲、伊七三▲、口伊一一一、伊一一二、伊一三、呂六三、呂六四、呂六八、伊五六、伊六八、伊五、口伊五九、伊六〇

▲(雁)▲

▲(掃一五、掃一六、掃一三、掃一四、攝津▲、明石▲、隱戸、間宮、石廊、佐多、日進)▲(伊九)▲(伊一五)▲(伊一六)▲

▲(彌生)▲(如月)▲(夕月)▲(卯月)▲

▲(隅田)▲(黒潮)▲(夏潮)▲

▲(木曾)▲

▲(伊五七)▲(伊五八)▲(伊一)▲(伊二)▲(伊三)

▲(瑞鶴)▲(初風)▲(伊二〇)▲(伊二二)▲

▲(神戶)▲

▲(大阪)▲

海軍公報(部内限) 第三千三百七十六號

昭和十四年十二月五日

一四二三

【相生】(伊一九)▲(伊一〇)▲

【玉】(伊一九)▲(伊一〇)▲

【因ノ島】(伊一九)▲(伊一〇)▲

【江田内】(伊一九)▲(伊一〇)▲

【別府】(伊一九)▲(伊一〇)▲

【舞鶴】(伊一九)▲(伊一〇)▲

吾妻▲、多摩▲、利根▲、筑摩▲、龍田▲、長良▲

羽風▲、太刀風▲、秋風▲、夕風▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

伊五二▲

【鎮海】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【ヒロ】(伊一八)▲(伊二四)▲

【作業地】(伊一八)▲(伊二四)▲

【航海中】

知床 (十一月二十九日)「パラオ」發「横須賀」

磐手、八雲 (三日)「パラオ」發「サイパン」

天龍 (三日)吳發「舞鶴」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

室戸 (四日)吳發「佐世保」

海軍公報(部内限)號外

昭和十四年十二月五日(火)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第四三六〇號ノ五

換 梁

昭和十四年度新造雜役船ノ公稱番號、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十四年十二月二日

海 軍 大 臣

公稱番號	船 種	所 屬	定 數 別	製 造 訓 令 番 號		竣 工、納 入 豫 定 期 日	備 考
				製 造 所	契 約 納 入 場 所		
第二八號	曳 (顯潛艇型)(百艘)	橫須賀防備隊	臨時附屬	府司長官ニ訓令	府司長官ニ訓令	昭和十五年三月末日	
第二三號	同	同	同	同	同	同	
第二四號	曳 (百艘)	吳海軍建築部 (光海軍工廠)(假稱)工車用	同	府司長官ニ訓令	府司長官ニ訓令	七月末日	
第二五號	同 (六十艘)	同	同	官房機密第五八〇號	鎮守府司長官ニ訓令	六月末日	
第二六號	曳船兼交通船 (二十艘)	同	同	府司長官ニ訓令	官房機密第五二七六號	五月末日	

海軍公報(部内限)號外

海軍公報 (部内限) 號外

第二八七號	内火艇 (砲艇型) (五五艇)	佐世保防備隊	同	同	官房機密第五三九號 鎮守府司令長官ニ訓令 横須賀	一同 月末日
第二八六號	同	同	同	同	同	二同 月末日
第二八九號	同	同	同	同	同	三同 月末日
第二九〇號	同	同	同	同	同	四同 月末日
第二九一號	同	同	同	同	同	五同 月末日
第二九二號	同	同	同	同	同	六同 月末日
第二九三號	同	同	同	同	同	七同 月末日
第二九四號	同	同	同	同	同	八同 月末日
第二九五號	同	同	同	同	同	九同 月末日
第二九六號	同	同	同	同	同	同
第二九七號	内火艇 (十一米)	舞鶴海軍建築部	定數補充	墨田川造船所	横須賀工廠	十同 二月二十四日
第二九八號	同	佐世保海軍建築部	臨時附屬	同	同	八同 三月三十一日
第二九九號	同	横須賀海軍航空隊	定數補充	同	同	三同 三月二十四日
第三〇七號	内火傳馬船 (十米)	吳海軍航空隊	同	同	同	一同 三月三十一日
第三〇八號	同	佐世保海軍工廠	公稱第二三一五 號代船(定數)	同	同	同

第百三十七號	第百三十六號	第百三十五號	第百三十四號	第百三十三號	第百三十二號	第百三十一號	第百三十號	第百二十九號	第百二十八號	第百二十七號	第百二十六號	第百二十五號	第百二十四號
(同)	(同)	(同)	(同)	運貨船 (圖平型×浮船)	(同)	(同)	(同)	運貨船 (船型×五十噸積)	(同)	(同)	運貨船 (シヤラン型) (五十噸積)	(同)	(同)
同	同	同	同	佐世保海軍港務部 (海南島根據地 隊司令部供用)	同	同	同	同	同	同	吳海軍建築部 (光海軍工廠(假 稱)工事用)	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	府官房第四八三七號佐世保鎮守 司令長官ニ訓令	同	同	同	同	同	同	府官房機密第五二七六號吳鎮守 司令長官ニ訓令	同	同
同	同	同	同	十同 月十 末四 日年	同	同	同	同	同	同	二同 月十 末五 日年	同	同
木製												科練習 部用	

第三艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(海軍省)

山崎 貞一

第三艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(海軍省)

伊勢 貞良

海軍技術會議議員海軍機關中佐

緒 方 明

海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス

大湊要港部部長海軍總政本部造船監督官海軍機關少佐

室蘭監理官ヲ命ス(以上海軍省)

海軍主計特務中尉 有馬 征清

北京在勤武官ニ要スル經費支拂ノ爲支那方面艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

同 松本 鹿藏

右同分任出納官吏ヲ免ス

海軍主計少佐 善 木 豊

大阪海軍監督官事務所及受持區域内ニ在ル艦裝具事務所ニ要スル旅費支拂ノ爲資金前渡官吏ヲ命ス

海軍主計中佐 南 了

資金前渡官吏ヲ免ス(以上海軍省) 支出官海軍省經理局長

軍令部出仕海軍大尉 橘 廣 太

第三部第五課勤務ヲ命ス(海軍省)

軍令部部長海軍中佐 松永 敬介

第三部第八課勤務ヲ命ス(海軍省) 海軍大尉 橘 廣 太

參謀部第三部第五課勤務ヲ命ス(海軍省) 大木營海軍部 海軍中佐 松永 敬介

參謀部第三部第八課勤務ヲ命ス(海軍省)

○ 雜 款

○司令部職員ノ經費掌理者
本年七月二十二日本欄ノ表ヲ左ノ通改ム

司令部名	經費掌理者	掌理開始年月日
上海方面根據地隊司令部	朝日主計長	一四、一、一五
第二聯合航空隊司令部	第十三航空隊長	一四、五、二三
第三聯合航空隊司令部	第十四航空隊長	一四、六、五

○郵便物發送先
吳鎮守府作業隊宛
自今
吳郵便局氣付 松川丸
軍艦長良宛

1233

自今

第十二聯合航空隊宛
自今

舞鶴

大分縣大分市東大分

海軍公報(部内限)第三千三百七十七號

昭和十四年十二月六日

一四二七

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十二月六日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、足柄▲、口高雄▲、陸奥、愛宕、夕張、口長門、摩耶、口赤城、口劍埼、山城、口那珂、口五十鈴、駒橋、迅鯨

島風▲、灘風▲、口村雨、春雨、夕立、五月雨、朧、口潮、曙、口大潮、荒潮、朝潮、満潮、雷、電

伊一二三、口伊一二四

富士▲、膠州、洲崎▲、鳴戸

高崎▲、(翔鶴)、(伊一七)▲、(伊二三)▲

【長浦】

沖島、汐風、口朝雲、山雲、帆風、峯雲、夏雲、曉、響、沼風、神風

呂五四、呂五五、呂五六、口呂五七、呂五八、伊七、伊四、伊六

口掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六

【横濱】

(香取)▲、(鹿島)▲

北上▲

捷▲、狹霧▲

(不知火)▲、(早潮)▲、(時津風)▲

【館山】

澤風

【大湊】

口野風、波風

呂五九

【函館】

【吳】

大泊、萩▲、矢矧、淺間、淀、日向、口熊野▲、風翔、最上▲、殿島▲、古鷹▲、口加古、鬼怒、龍驤▲、口大鯨、伊勢、扶桑▲、大井、長鯨、白鷹、神通、鈴谷、初鷹、口球磨

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、磯波、初雪、口東雲、叢雲、薄雲、白雲、霞▲、口霞▲、陽炎、矢風、菊、口天霧、朝霧、夕霧、口綾波▲、浦波▲、口葵

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、呂二八▲、伊五一、伊七〇、伊六九▲、伊八▲、伊五五▲、口伊五三▲、伊五四▲、口伊七五▲、口伊七四▲、伊七二▲、伊七一▲、口伊七三▲、口伊一二一、伊一二二、口伊六三、呂六四、呂六八、伊五六、口伊六八、伊五、口伊五九、伊六〇

雁、口掃一五、掃一六、掃一三、掃一四、攝津▲、明石▲、隠戸、間宮、石廊、佐多

(日進)▲、(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲、彌生▲、如月▲、夕月▲、卯月▲

(隅田)▲、(黒潮)▲、(夏潮)▲

水曾▲

口伊五七▲、伊五八▲、伊一、口伊二、伊三

(瑞鶴)▲、(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲

【神戶】

【大阪】

瑞鶴▲、(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲

海軍公報(部内限) 第三千三百七十七號

昭和十四年十二月六日

一四二九

【相生】
伊一九、伊一〇、朝顔、刈萱

【玉】
鶴見、呂六二

【因ノ島】
文月、水無月、卓月、長月

【江田内】
平戸

【別府】
比叡

【舞鶴】
吾妻、多摩、利根、筑摩、龍田、長良、天龍

羽風、太刀風、秋風、夕風

伊五二

伊準、鴨、鴻、鶴

【親潮】
天津風

【長崎】
羽黒

【佐世保】
常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登、呂

千歳、榛名、名取、阿武隈、由良、川内、飛龍、霧島、金剛、八重山、妙高

梨、竹、樞、桃、柳、檜、葦、蓬、菱、萩、椿、楡、初春、望月、睦月、菊月、三日月、江風、涼風、海風、山風、白露、有明、夕暮、時雨、夕風、朝風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六六、伊六六、伊六五、呂六七、呂六五、呂三四、呂三三、伊六二、伊六一、伊六四、伊六七

【鎮海】
追風、疾風

【作業地】
出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、伏見、瑞穂、鳥海、嵯峨、千代田、勝力、蒼龍

栗、梅、蓮、松風、朝風、峯風、沖風、若葉、子日、初霜、春風、旗風、吹雪、白雪

伊六三

鷺、鳩、雉、友鶴、初雁、真鶴

掃一七、掃一八、掃八、掃七

朝日、襟裳

【航海中】
知床(十一月二十九日「バラオ」發「横須賀」)

磐手、八雲(三日「バラオ」發「サイパン」)

尻矢(四日「ヒロ」發「横須賀」)

千鳥(五日佐世保發「舞鶴」)

海軍公報

(部内限)第三千三百七十八號

昭和十四年十二月七日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第七〇五四號ノ二
本年官房機密第四八三八號ハ之ヲ廢止ス

昭和十四年十一月十五日

海軍大臣

(參照) 本年官房機密第四八三八號ハ江上飛行機隊ニ要スル經費掌理ノ件ナリ

官房機密第七六〇一號

今期施行ノ海軍少尉候補生ノ航空術講習ハ第十一聯合航空隊ノ海軍練習航空隊ニ於テ之ヲ行ヒ共ノ期間及實施要領ヲ左ノ通定ム

昭和十四年十二月七日

海軍大臣

一、期 間

自昭和十四年十二月下旬
至昭和十五年一月中旬

(全員同時ニ行フ)

二、實施要領

海軍少尉候補生航空術講習規程ニ依ルノ外第十一聯合航空隊司令官ノ定ムル所ニ依ル

○通 牒

官房機密第一六號ノ一五五

昭和十四年十二月七日

海軍省 副官

關係各廳長殿

機關長主管兵器名稱改正ニ關スル件照會

十二月六日內令兵第六十五號ニ依リ兵器名稱改正相成候處現供用中ノ兵器簿改正ニ關シテハ大正六年十月二十九日官房第三二八〇號通牒ニ拘ラズ改メテ通達セラ
ルル内意ニ付左記ノ通取計相成度

記

一、供用廳ハ現品調査ノ上別紙様式ニ依リ二通ヲ調製シ昭和十五年一月二十日迄ニ所管海軍軍需部ニ送付

スルモノトス

- 二、海軍軍需部ハ内一通ヲ取纏メ昭和十五年一月末日迄ニ海軍艦政本部ニ送付スルモノトス
- 三、海軍艦政本部ハ右調査資料ニ基キ兵器簿改正ノ手續ヲナスモノトス

(別紙添)

經豫第三號ノ二四六

昭和十四年十二月六日

海軍省 經理局長

各支出官殿

支拂豫算ニ關スル件通牒

本年内又ハ來年早々支拂ニ要スル支拂豫算増額請求書ハ十二月十二日迄ニ當局ニ提出相成度

○ 辭 令

(各通)

海軍中佐 鹿 江 隆

海軍少佐 田 代 格

海軍軍事普及部委員ヲ命ス(対海軍省)

海軍中佐 大前 敏一

第一課勤務ヲ命ス(対海軍省軍務局)

海軍主計少佐 降幡 倉雄
在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(対海軍航空本部)

○ 雜 款

○司令潜水艦變更

第九潜水隊司令ハ十二月五日司令潜水艦ヲ伊號第百二十四潜水艦ヨリ伊號第百二十三潜水艦ニ變更セリ

第十二潜水隊司令ハ十二月一日司令潜水艦ヲ伊號第六十九潜水艦ヨリ伊號第六十八潜水艦ニ變更セリ

○學生着任期日

官房機密第六二六八號ニ依リ昭和十五年一月上旬任命セラレベキ特修科學生ハ一月八日始業ニ付其ノ前日迄ニ着任セシメラレ度

(海軍通信學校)

○練習生採用試験問題發送

第六十九期普通科機關術(練習生採用試験問題)第七十期普通科電機術(練習生採用試験問題)右十二月一日左記ノ通發送濟、未着ノ向又ハ別ニ必要ノ向ハ至急御通知相成度
記

- 一、單獨試驗施行豫定ノ各部ニハ直送セリ
- 二、聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部首席部員及各要港部副官宛送付
但シ旅順要港部所屬艦船ニハ直送セリ
- 三、聯合試驗參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更ノ爲聯合試驗參加不能ノ向ニ對スル分トシテ前記諸官宛單獨試驗用若干部送付シ置ケリ

(海軍工機學校)

○懲罰

懲罰言渡書

海軍公報(部内限)第三千三百七十八號

昭和十四年十二月七日

一四三三

○艦船所在

指定要セズ

○十二月七日午前十時調

【横須賀】

春日▲、神威▲、三隈▲、足柄▲、口高雄、陸奥、愛宕、夕張、口長門、摩耶、口赤城、口劍埼、山城、口那珂、口五十鈴、駒橋、迅鯨

島風▲、灘風▲、口村雨、春雨、夕立、五月雨、龍、口潮、曙、口大潮、荒潮、朝潮、満潮、雷、電

伊一二三、口伊一二四

富士▲、膠州、洲埼▲、鳴戸

(高崎)▲、(翔鶴)、(伊一七)▲、(伊二三)▲

【長浦】

△沖島

汐風、口朝雲、山雲、帆風、峯雲、夏雲、曉、響、沼風、神風

呂五四、呂五五、呂五六、口呂五七、呂五八、伊七、伊四、伊六

口掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六

【横濱】

浦賀

北上▲

漣▲、狹霧▲、(不知火)▲、(早潮)▲、(時津風)▲

【館山】

澤風

呂五九

【大湊】

大泊

【函館】

萩▲

矢矧、淺間、淀、日向、口熊野▲、風翔、最上▲、巖島▲、古鷹▲、口加古、鬼怒、龍磯▲、口大鯨、伊勢、扶桑▲、大井、長鯨、白鷹▲、口神通、鈴谷、初鷹▲、口球磨

夕顔、吳竹、若竹、早苗、薄、藤、葛、敷波、磯波、初雪、口東雲、白雲、薄雲、濃雲、霞、口散、陽炎、矢風、菊、口天鷲、朝霧、夕霧、口綾波▲、浦波▲、口葵

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、呂二八▲、伊五一、伊七〇、伊六九▲、伊七八▲、伊五五▲、口伊五三▲、伊五四▲

口伊七五▲、口伊七四▲、伊七二▲、伊七四▲、口伊七三▲、口伊二二、伊二二、伊七二▲

口呂六三、呂六四、呂六八、伊五六、伊六八、伊五、口伊五九、伊六〇

雁 掃一五、掃一六、掃一三、掃一四

攝津▲、明石▲、隱戸、間宮、石廊、佐多

(日進)▲、(伊九)▲、(伊一五)▲、(伊一六)▲、彌生▲、如月▲、夕月▲、卯月▲

(隅田)▲、(黒潮)▲、(夏潮)▲

木曾▲

伊伊五七▲、伊五八▲、伊一、口伊二、伊三

(瑞鶴)▲、(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲、(伊一九)▲、(伊一〇)▲

【神戶】

木曾▲

伊伊五七▲、伊五八▲、伊一、口伊二、伊三

(瑞鶴)▲、(初風)▲、(伊二〇)▲、(伊二二)▲、(伊一九)▲、(伊一〇)▲

海軍公報(部内限)第三千三百七十八號

昭和十四年十二月七日

一四三五

【相生】芙蓉、朝顔、刈萱

【玉】鶴見

【因ノ島】呂六二、文月、水無月、卓月、長月

【江田内】平戸、吾妻、多摩、利根、筑摩、龍田、長良、天龍

【舞鶴】秋風、夕風、羽風、太刀風、伊五二

【長崎】親潮、(天津風)、隼、鶴、鴻、千鳥

【佐世保】常磐、那智、青葉、衣笠、加賀、能登、千歳、榛名、名取、阿武隈、由良、川内

飛龍、霧島、金剛、八重山、妙高、梨、榎、桃、柳、檜、蓮、菱、葦、竹、梯、榆、初春、望月、睦月、菊月、三日月、江風、涼風、海風、山風、白露、有明、夕暮、時雨

【夕風、朝風】呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六六、伊六六、伊六五、呂六七、呂六五、呂三四、呂三三、伊六二、伊六一、伊六四、伊六七

【敷島】早鞆、野島、室戸、掃一一、掃一〇、掃九、掃一二

【鎮海】追風、疾風、(雪風)、(磯風)、(伊一八)、(伊二四)、(作菜地)出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、伏見、瑞穂、鳥海、鏡娥、千代田、勝力、蒼龍

栗、梅、蓮、松風、朝風、峯風、沖風、若葉、子日、初霜、春風、旗風、吹雪、白雲

伊六三、鷺、鳩、雉、友鶴、初雁、真鶴、掃一七、掃一八、掃八、掃七

【航海中】朝日、襟裳

知床(十一月二十九日)「パオ」發「横須賀」

磐手、八雲(三日)「パオ」發「サイパン」

尻矢(四日)「ヒロ」發「横須賀」

比叡(六日)別府發「吳」

野風、波風(六日)大湊發「厚岸」

別紙

(昭和十四年十二月七日公報(部内限)別紙)

一號天井燈六型調査表、艦、團、部隊、學校名			
舊	型	改良型	合計
、	、	、	、
、	個	個	個
、	、	、	、
、	個	個	個
			第、號驅潛艇用
			敷設艇、用
			記
			事

備考

- 一、特務艇及雜役船ニアリテハ艇船名ヲ記事欄ニ記載スルノモノトス
- 二、合計數ガ兵器簿定數ト合致セザルモノハ詳細ナル理由ヲ備考欄ニ附記スルモノトス